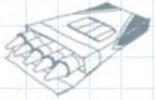


PRESENTATION

【政治経済】 第17回 年金と社会保障制度の未来

【目標】

年金保険制度の特徴を学び、
社会保障のまとめを行う。



PRESENTATION

「社会保障制度」の授業も早いもので3回目を迎えました。この時間までに学んだこと、復習してみましょう。

- 社会保障制度は「人生のリスク(困難な事態やトラブル)」を補うものです。
- 社会保障制度は「**所得の再分配機能**」を持ち、格差を修正する役割も果たしています。
- 社会保障制度は“誰が担うか”によって異なり、それぞれに良い点と問題点があります。

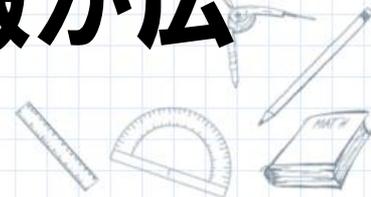


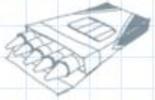


PRESENTATION

さて、社会保障の授業の最後は「年金」です。年金に関して、みなさんからよく聞かれる質問は、「将来、年金ってもらえるの？」ということです。

もちろん、未来のことはわかりませんが、少子高齢化が進むなどのネガティブな要因によって、“将来、年金ヤバい！？”というような、あまり根拠のない情報が広まっていますが、本当でしょうか？





PRESENTATION

この授業の目的は、みなさんに「年金」に関する正しい知識を身につけてもらうことです。具体的には以下のことです。

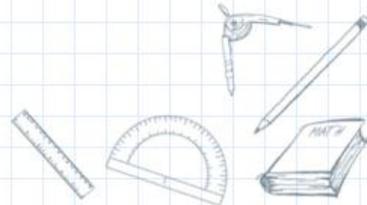
①「年金」制度の特徴

→「年金」と「貯蓄」の違いとは？

②年金保険のメリット

→目に見えない「利益」とは何でしょう？

③年金保険と今後の日本



導入

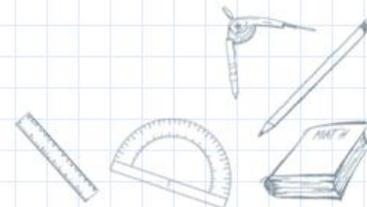
“社会保障”も最後の時間



PRESENTATION

何と、もう帰ってきた...

社会保障改め年金
「高校生クイズ」

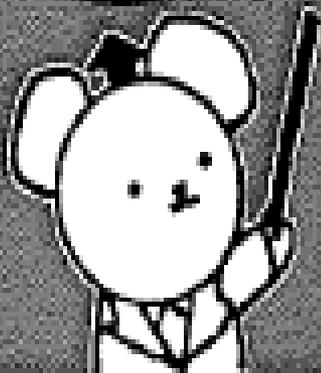




第1問

クイズ

Q1

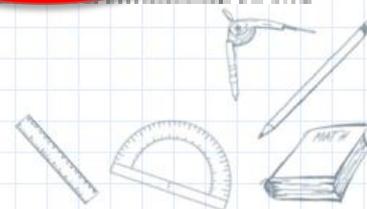


世界一長寿といわれる日本人女性の平均寿命は86歳です。では、現在65歳の日本人女性は、その後平均で何年生きると思いますか？

① 18年

② 21年

③ 24年





PRESENTATION

第2問

30
クイズ

Q2

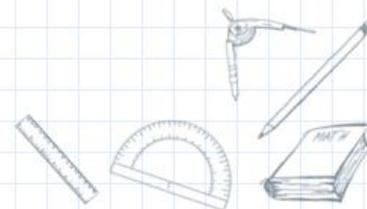
今の男性の平均寿命は79歳ですが、
例えば、30年以上前の1980年の男
性の平均寿命は、何歳でしたか？



① 68年

② 73年

③ 78年





第3問

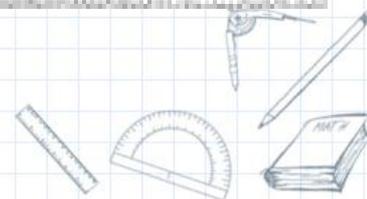
30
クイズ

Q3

会社員が退職して、老後を迎えるのは65歳からです。その後、30年間、つまり95歳まで生きるとしたら、老後の生活費はいくら必要ですか？



- ① 6300万円 ② 7300万円 ③ 8300万円





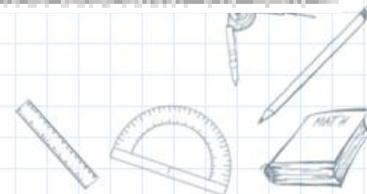
第4問



Q3

平均寿命は、男性で79歳、女性で86歳ですが、国の年金は、何年間もらえると思いますか？

- ① 退職して10年間
- ② 退職して15年間(平均寿命まで)
- ③ 亡くなるまで





第5問



自分たちが払う年金の保険料は、何に使われるの？

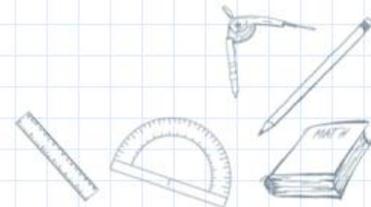
- ① 基本的には、自分の将来の年金のために積み立てている
- ② 基本的には、今の高齢者の年金に充てている





PRESENTATION

年金“高校生クイズ”を通して、年金に対する理解は深まったでしょうか？今日はまず、前々回のDVDの内容を復習しながら、年金保険制度そのものについて学んでいきましょう。



1

「年金保険」の特徴とは...?



PRESENTATION

「**年金保険**制度」って...

老齢・障害・死亡などを保険事故とし、被保険者や遺族の生活保障を目的とする年金保険制度のこと。(三省堂『大辞林』)



年金保険には、「**老齢**年金」、「**障害**年金」、「**遺族**年金」とありますが、いずれも共通するのは“**安定した収入が得られない人々の生活**”を補う制度であることです。

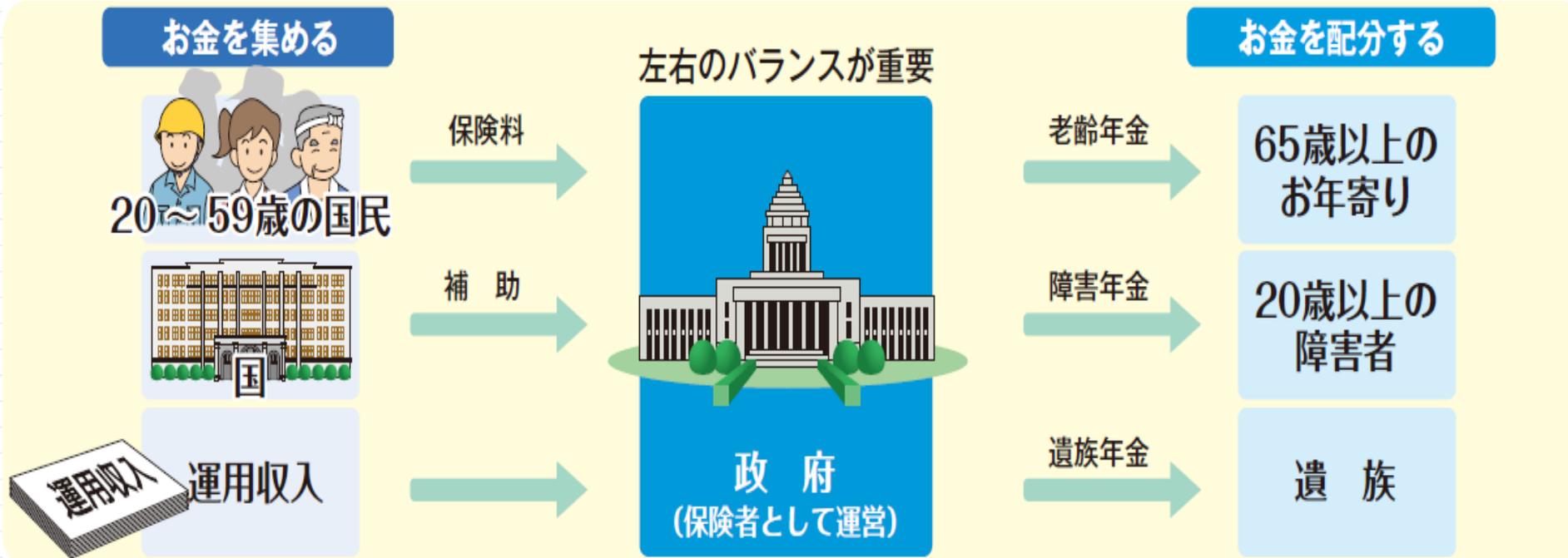


1

「年金保険」の特徴とは...?



年金保険には、「**老齢年金**」、「**障害年金**」、「**遺族年金**」がありますが、いずれも共通するのは“**安定した収入が得られない人々の生活**”を補う制度であることです。



1

「年金保険」の特徴とは...?



4. **国民年金**

5. **厚生年金**

6. **共済年金**

制度の全体イメージ (数値は2013年4月現在)



日本は「国民皆年金」だから、みんな公的年金に加入する仕組みになっているのよ。



働き方・暮らし方別の制度に必ず加入

【現役時代】

国民年金
(第1号被保険者)

自営業者・大学生
フリーター等



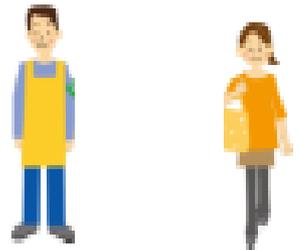
厚生年金・共済年金
(第2号被保険者)

会社員・公務員等



国民年金
(第3号被保険者)

専業主婦等



1

「年金保険」の特徴とは...?



国民年金
(第1号被保険者)

自営業者・大学生
フリーター等



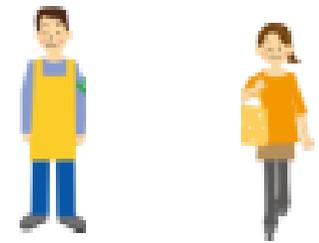
厚生年金・共済年金
(第2号被保険者)

会社員・公務員等



国民年金
(第3号被保険者)

専業主婦等



(20歳から)

(就職したら)

(20歳から)

保険料を支払う

保険料を支払う

転職、暮らし
の変化等

毎月15,040円 (定額)

毎月給料の約16.8%
(会社が半分負担)

負担なし (第2号被
保険者全体で負担)

保険料が
払えない
時は免除
制度あり

転職等

転職、暮らし
の変化等

暮らしの変化等

(59歳まで)

(退職まで)

(59歳まで)

1

「年金保険」の特徴とは...?



【引退後】

公的年金は長生きしても大丈夫なように、亡くなるまで年金給付を受け取れる(終身保障)のね!



(65歳から)
年金給付を受け取る

取る

月約66,000円
(基礎年金)

亡くなるまで

基礎年金
(定額)



(65歳から)
年金給付を受け取る

月約165,000円
(基礎年金+厚生年金・共済年金)

亡くなるまで



基礎年金
(定額)



(65歳から)
年金給付を受け取る

月約66,000円
(基礎年金)

亡くなるまで

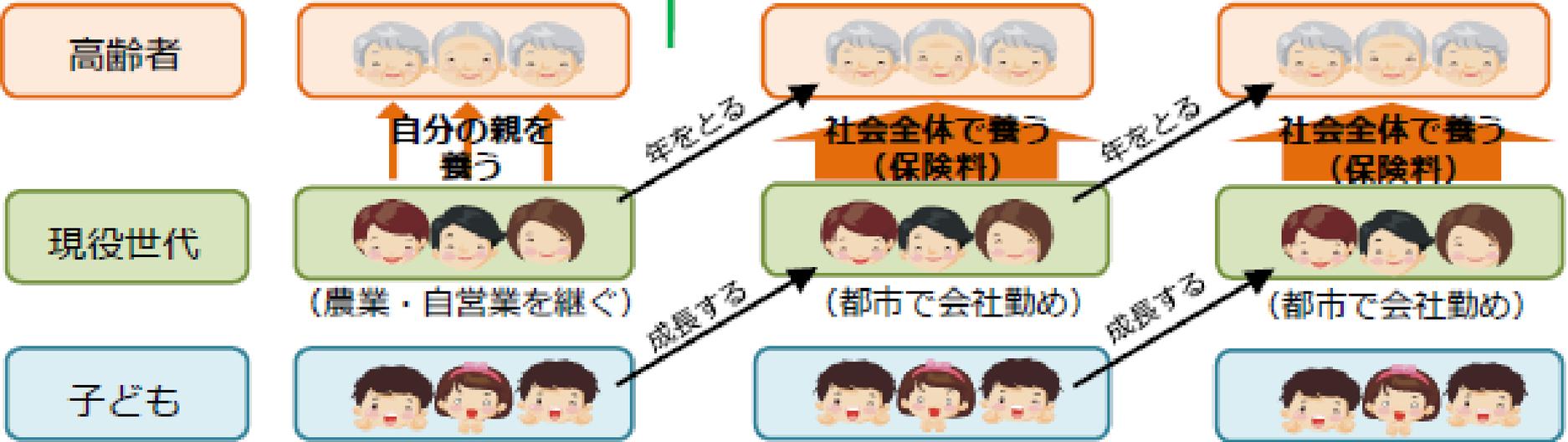
基礎年金
(定額)

1

「年金保険」の特徴とは...?



(公的年金制度がない時代) | 公的年金制度はじまる



公的年金の保険料を払うことは、自分の親を養う費用の肩代わりになっているのね。



公的年金制度は、現役世代が納める保険料で高齢者の年金給付をまかなうという「**世代と世代の支え合い(世代間扶養)**」が基本になっています。公的年金がなかった昔は、家族が同居して自分の親を養っていましたが、今も昔も、働く現役世代が自分の親世代を支えるという構造は一緒です。都市化や核家族化が進んでいる現在でも、同居していない親の暮らしを支えられるのは公的年金があるからともいえます。

2

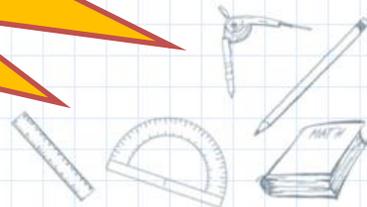
年金保険の“見えない「利益」とは？”



PRESENTATION

年金保険の特徴を学んだところで、次は年金と貯蓄との違いや、「年金」によって得られるものを考えます。題して...

年金人生ゲーム



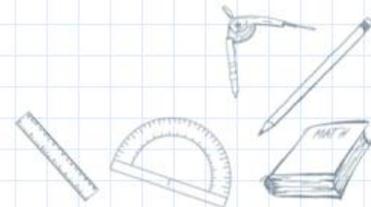
2

年金保険の“見えない「利益」”とは？”



PRESENTATION

「年金人生ゲーム」を通じて、年金保険や社会保険制度がもたらすものを考えていきます。それは単純に生活資金が賄えるということだけではなく、“見えない「利益」”がもたらされます。ゲームを行いながら、その点を考えてみてください。



課題

年金人生ゲーム ※記入例



	収入	支出	社会保険料	預金(残高)
20歳	20 万円	10 万円	5 万円	5 万円
30歳	30 万円	30 万円	10 万円	-10 万円
40歳	万円	万円	万円	万円
50歳	万円	万円	万円	万円
60歳	万円	万円	万円	万円
70歳	万円	万円	万円	万円
80歳	万円	万円	万円	万円
最終残高				万円



PRESENTATION

社会人として働き始めたあなた。
毎日、仕事に頑張っています。

【収入】

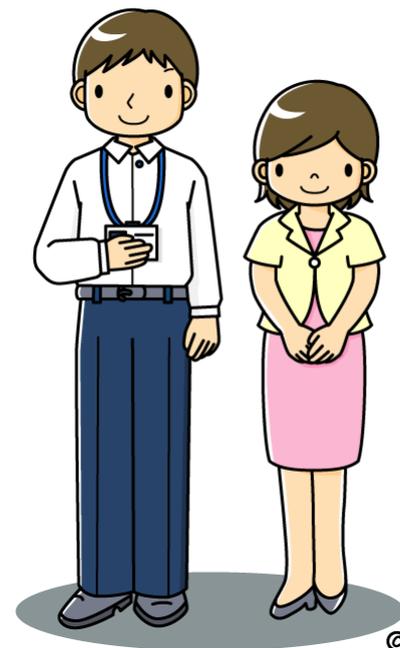
20万円(全員)

【支出】

10万円

【社会保険料】

5万円





PRESENTATION

結婚し、子どもができたあなた。
家族のために頑張る毎日です。



【収入】

30万円

社会保険制度
に入っていれば
20万円

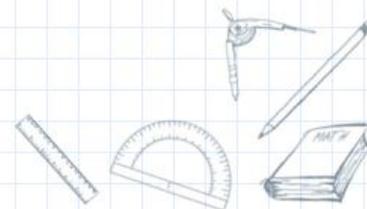
【支出】

15万円(「●

」が出た場合は、趣味のサッカーの試合で怪我をしたため、支出30万円)

【社会保険料】

10万円





PRESENTATION

子どもも成長して、もうすぐ中学
一家の大黒柱として頑張る毎

社会保険制度
に入っていれば
30万円

【収入】

40万円(「●」、「●」が出た場合は、病気で
入院したため、収入0円)

【支出】

20万円

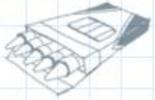
【社会保険料】

15万円



課題

年金人生ゲーム④「50歳」



PRESENTATION

子どもが間もなく「成人式」を迎え、
大学生の子どもにお金もかかり

社会保険制度
に入っていれば
25万円

【収入】

50万円（「●」、「●」が出た場合は、失業したため、収入**0円**）

【支出】

25万円（「●」、「●」が出た場合は、子どもの大学の費用により、**40万円**）

【社会保険料】

20万円





PRESENTATION

いよいよ定年退職を迎えました。
これからは「老後」の人生が始まります。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

20万円





PRESENTATION

だいぶ年齢を重ねてきました。
病気の頻度も少しずつ増えてきました。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**

(「」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「」、「」が出た場合による入院があり、**50万円**)



社会保険制度
に入っていれば
30万円



課題

年金人生ゲーム⑦ 「80歳」



PRESENTATION

いよいよ最後のターンです。平均寿命は男性はこの年齢頃まで、女性はもっと長いです。

【収入】

年金保険制度加入 **30万円**

年金保険制度未加入 **0円**



(「●」が出たら、株式投資による利益で**50万円**)

【支出】

30万円(「●●」、「●●●」、「●●●●」)

病気による入院があり、**50万円**

社会保険制度に入っていれば
30万円



2

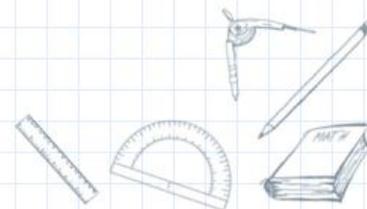
年金保険の“見えない「利益」とは？”



PRESENTATION

最終的な財産は、いくらになったでしょうか...？

しかし、最終的な「財産」が多かったとか、少なかったとかが問題ではありません。特に、社会保障制度に未加入のみなさん、60歳以上の「老後」はいかがでしたか...？



2

年金保険の“見えない「利益」”とは？”



老後に備えて貯蓄しても…

人は、何歳まで生きるかは予測できない。
(どれだけ貯蓄をすればよいのかわからない)

50年後の物価や賃金の変動は予測できない。
(貯蓄しても、将来目減りするかもしれない)

いつ、障害を負ったり、小さな子どもがいる時に
配偶者を亡くす (=所得を失う) かわからない。

公的年金なら…

終身 (亡くなるまで) で
受給できる

実質的な価値を保障され
た年金給付を受け取れる

障害年金・遺族年金を受
け取れる

年金保険は、“見える利益”として年金が支給されます。しかし、“見えない利益”として、寿命などに関係なく、(社会保障制度全体で)ある程度の生活が保障される「安心感」があります。

2

年金保険の“見えない「利益」”とは？



昔と今の物価

※1973年

1965年 → 2010年

1965年 → 2010年

私たちは自分がどれくらい長生きするかわかりません。また、50年後の生活水準を予測することもできません。老後に備えて貯金をすることは大事なことですが、長い人生には、自分1人では対応できないこともあります。公的年金があるのは、こうしたリスクへ社会全体で備える必要があるからです。



年金額
10万円

物価上昇等を
反映して
年金額も増額

年金額
11.6万円

物価上昇等を
反映して
年金額も増額

年金額
14.1万円

3 年金保険と社会保障制度の未来



PRESENTATION

この時間は年金保険を学びました。この3時間で、みなさんは社会保障制度への理解が深まったと思います。

最後のまとめとして、年金保険や社会保障制度の未来について考えていきましょう。

冒頭でも言いましたが、年金や社会保障制度について、こんな「声」を聞いたことはありますか？



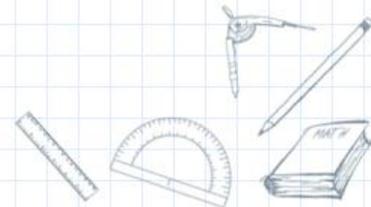


PRESENTATION

自分たちの時は
もう年金をもらえ
ないんでしょ？

少子高齢化で、
社会保障ヤバい
んじゃないの？

未納者も大勢い
るから、保険料
払わなくてもいい
んでしょ？

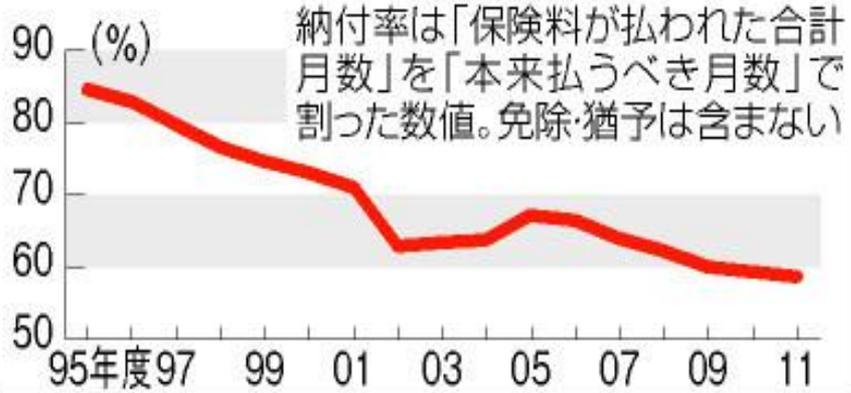


年金保険と社会保障制度の未来



The Asahi Shimbun

国民年金保険料の納付率の推移



国民年金保険料を払わない理由

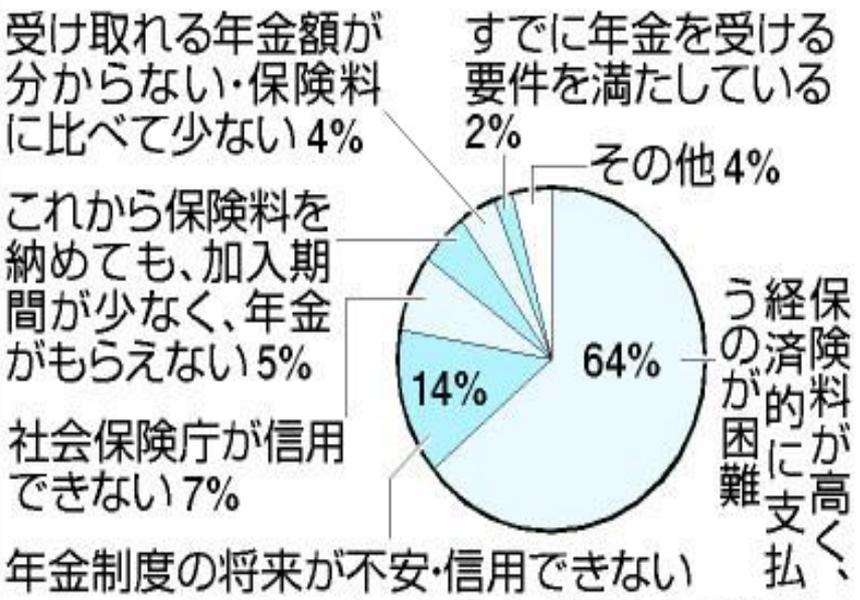
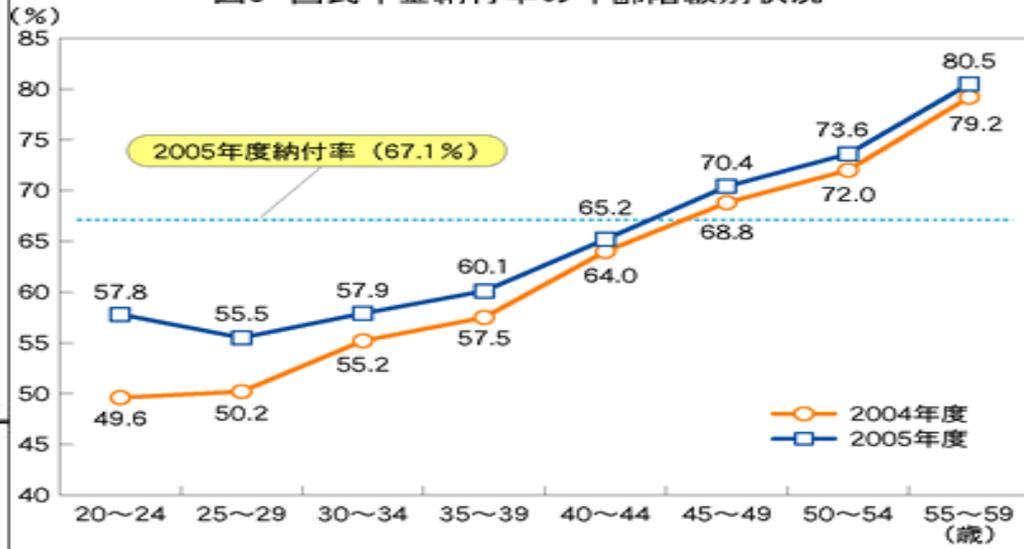


図3 国民年金納付率の年齢階級別状況



出所：社会保険庁「平成17年度 社会保険事業の概況」

出所：goo research ホームページ

国民年金保険の納付率は年々低下し、未納が増加している。特に20代～30代が多い。

3

年金保険と社会保障制度の未来



PRESENTATION

国民年金の保険料未納者は約40%にのぼっている。これは、年金加入者全体の約「5%」である。

③保険料を払わない人ってどれくらいいるの？



未加入者 未納者
9万人 320万人

免除者361万人
学特・猶予者208万人

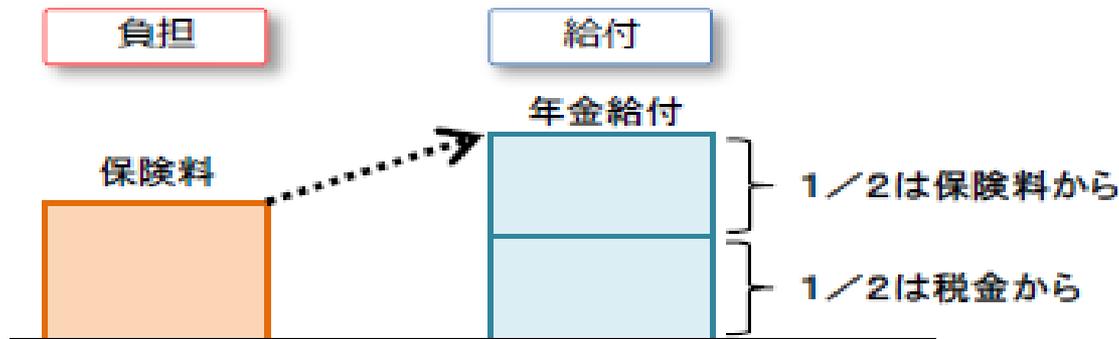
未納者は、全体からすると多くはないのね。安心したわ。でも、未納者は将来公的年金をもらうことができなくなってしまうから、大問題ね。



3 年金保険と社会保障制度の未来

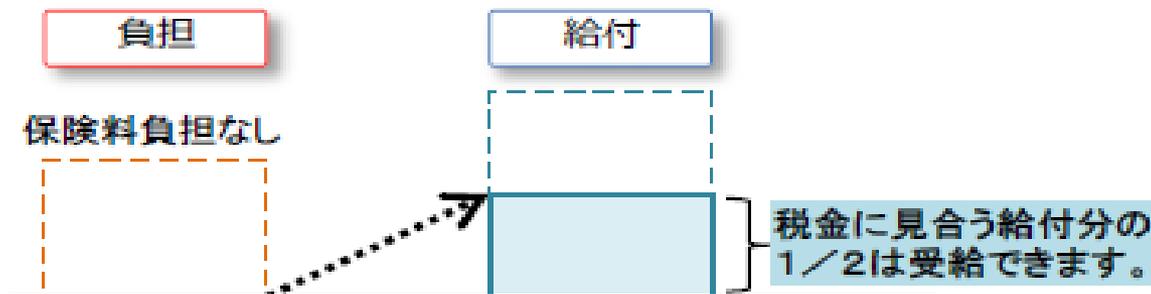


【国民年金（基礎年金）の負担と給付】



基礎年金は原則 1 / 2 は税金でまかなわれています。これは、民間保険にはない公的年金のメリットです。

全額免除の手続きをしていた場合



きちんと手続きしていて良かったあ

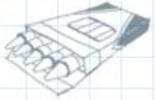
経済的な理由で保険料を支払えなかった場合でも、免除制度を申請し認められていれば、税金に見合う給付分である原則 1 / 2 の基礎年金を受け取ることができます。

未納だった場合



どうせ払っても損だと思って、払っていなかったけど、税金に見合う給付分も受け取れないのか……

保険料を払っていないのは、全額免除の人と同じですが、免除の手続きをしていないので、公的年金を受け取ることはできません。障害年金や遺族年金も受け取れません。

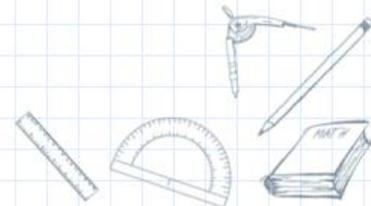


PRESENTATION

自分たちの時は
もう年金をもらえ
ないんでしょ？

少子高齢化で、
社会保障ヤバい
んじゃないの？

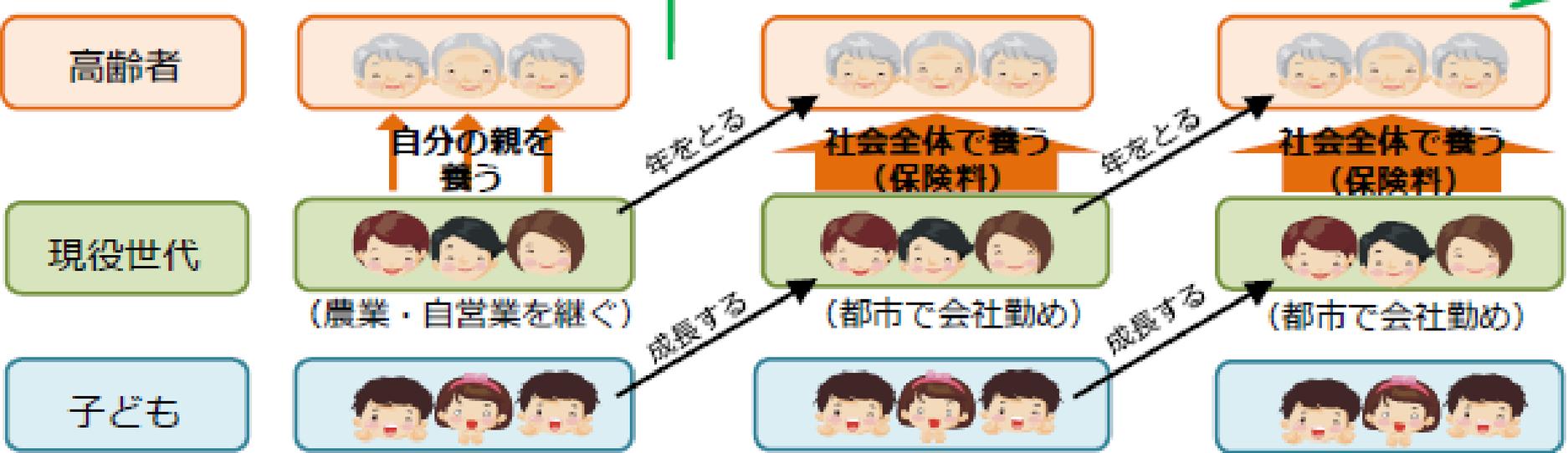
未納者も大勢い
るから、保険料
払わなくてもいい
んでしょ？



「年金保険」の特徴とは...?



(公的年金制度がない時代) | 公的年金制度はじまる

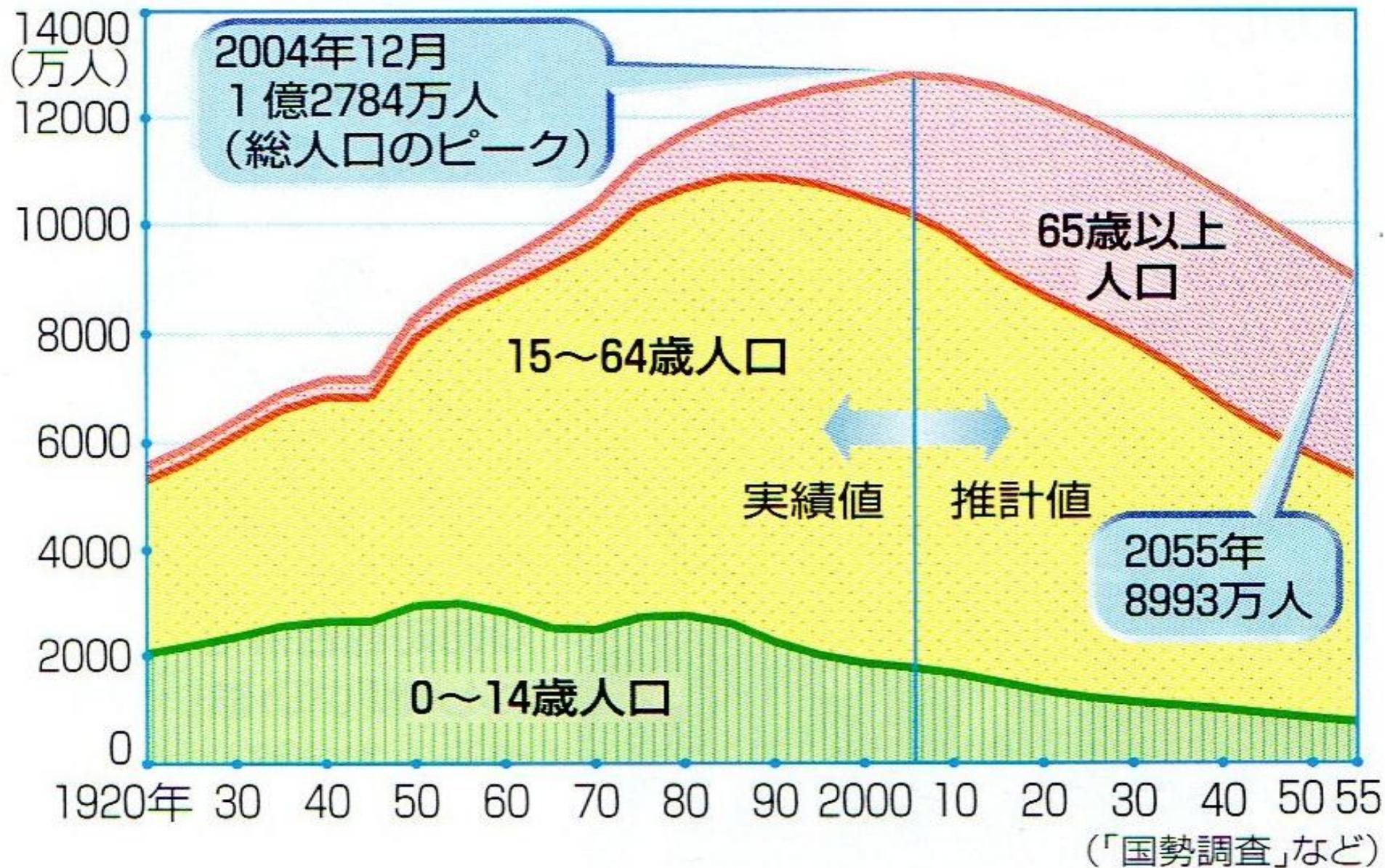


公的年金の保険料を払うことは、自分の親を養う費用の肩代わりになっているのね。



公的年金保険は、現役世代が納める保険料で高齢者の年金給付をまかなうという「**世代と世代の支え合い(世代間扶養)**」が基本になっています。公的年金がなかった昔は、家族が同居して自分の親を養っていましたが、今も昔も、働く現役世代が自分の親世代を支えるという構造は一緒です。都市化や核家族化が進んでいる現在でも、同居していない親の暮らしを支えられるのは公的年金があるからともいえます。

3 年金保険と社会保障制度の未来



3 年金保険と社会保障制度の未来



1970年

現役世代が高齢者よりも圧倒的に多いから、保険料の方が多くなっているよ！
これは将来に備えて“へそくり”として貯めておこう

65歳以上
人口

20~64歳
人口

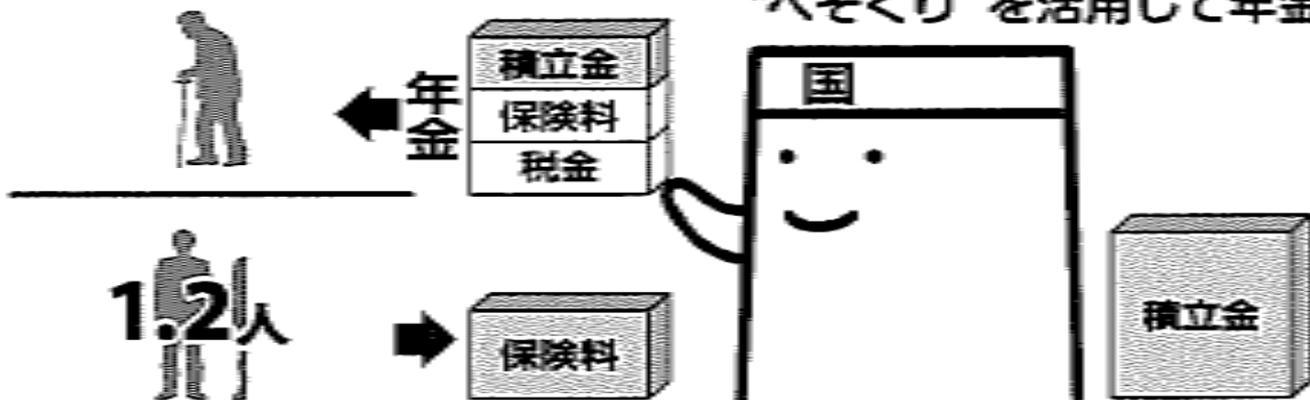


2050年

かつて多くいた現役世代が高齢者になっているから、
これまで計画的に貯めていた“へそくり”を活用して年金を支払おう

65歳以上
人口

20~64歳
人口



3 年金保険と社会保障制度の未来



負担

給付

少子高齢化が進んでも、負担と給付でバランスが取れる仕組みになっているのね

保険料

税

積立金

年金給付

月額保険料(率)は、2017年度まで段階的に引き上げられて最終的に固定されます。

- ・厚生年金: 給料の18.3%(本人9.15%)
- ・国民年金: 16,900円(平成16年度価格)

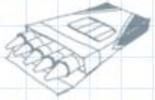
基礎年金に必要な費用のうち、3分の1は、保険料でなく税でまかっていたが、2009年からは2分の1に引き上げられました。

少子高齢化に対応して、給付水準が、現役世代の負担能力に見合うよう、自動的に調整される仕組みになっています。

給付が際限なく引き下がらないよう、標準的な年金受給世帯の給付水準は「現役世代の平均収入の50%」を上回るようにしています。

3

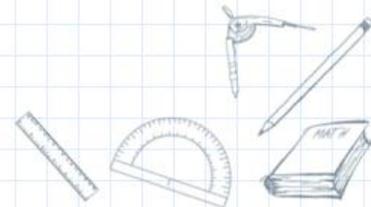
年金保険と社会保障制度の未来



PRESENTATION

自分たちの時は
もう年金をもらえ
ないんでしょ？

少子高齢化で、
社会保障ヤバい
んじゃないの？

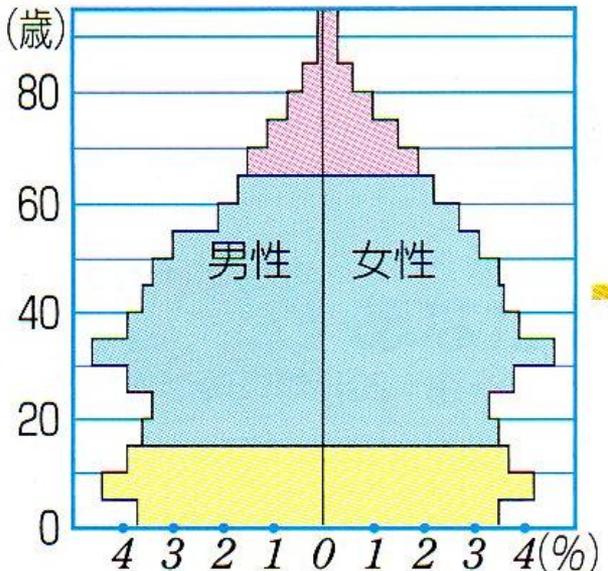


3

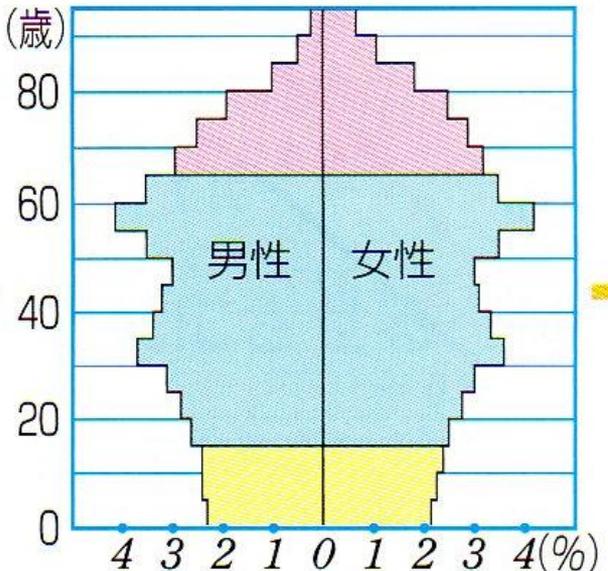
年金保険と社会保障制度の未来



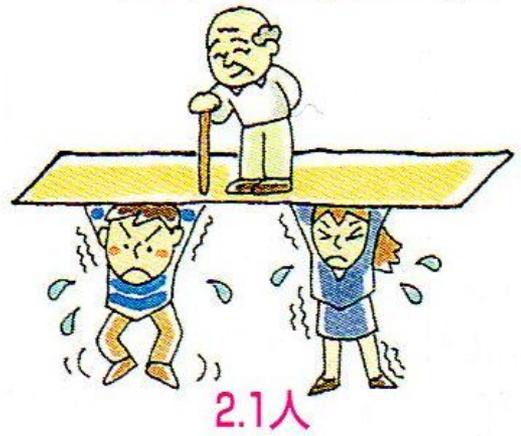
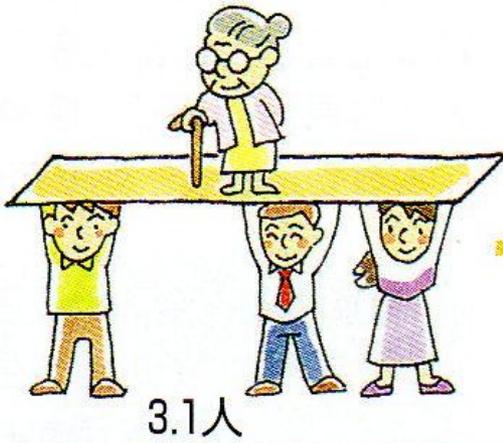
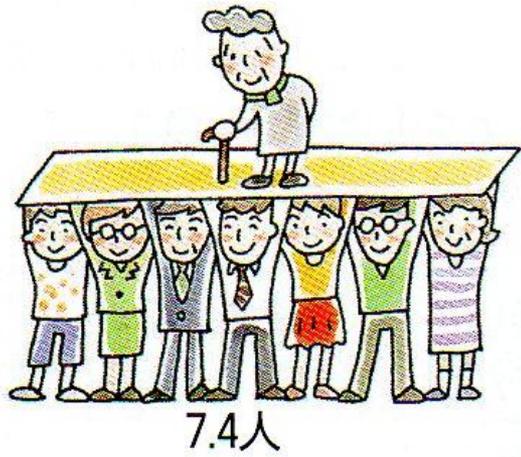
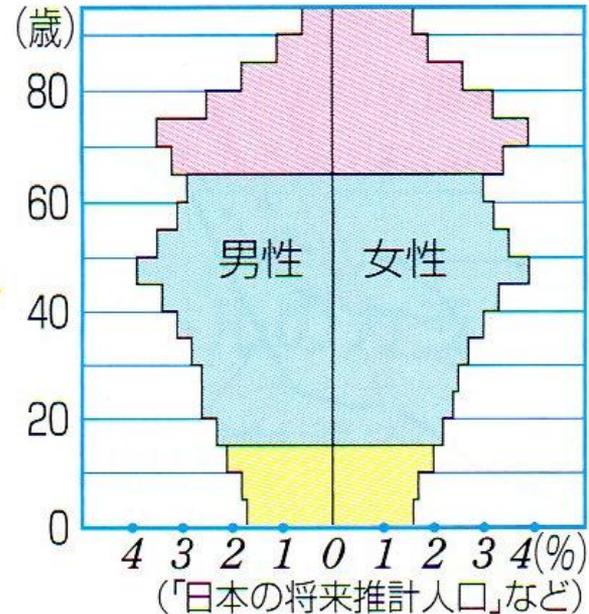
1980年



2005年



2020年



〈高齢者1人を、働く人何人で支えるか〉

3 年金保険と社会保障制度の未来



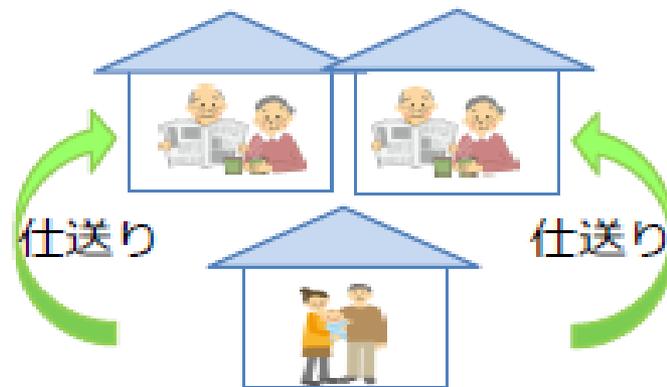
【 公的年金を通じて社会全体で親世代を養う場合 】



社会全体で養う
(保険料)



【 公的年金ではなく自分で親を養う場合 】



少子高齢化により、厳しい状態になることが予想されますが、それでもなお“社会全体で支える”という考え方に基づく社会保障は、重要な役割を担い続けると考えられます。

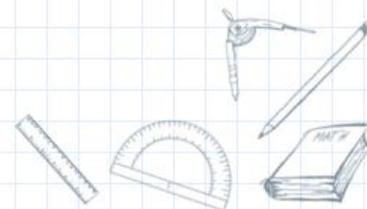
3 年金保険と社会保障制度の未来

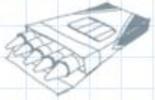


PRESENTATION

年金や社会保障に関しては、少子高齢化などの将来へのネガティブなイメージが先行し、(時に根拠に乏しい)悲観論が広がる傾向にあります。

しかし、私たちはあくまでも冷静に現状を見つめなければなりません。「情報」だけに惑わされることなく、「真実」を見る目を養うことが大切です。





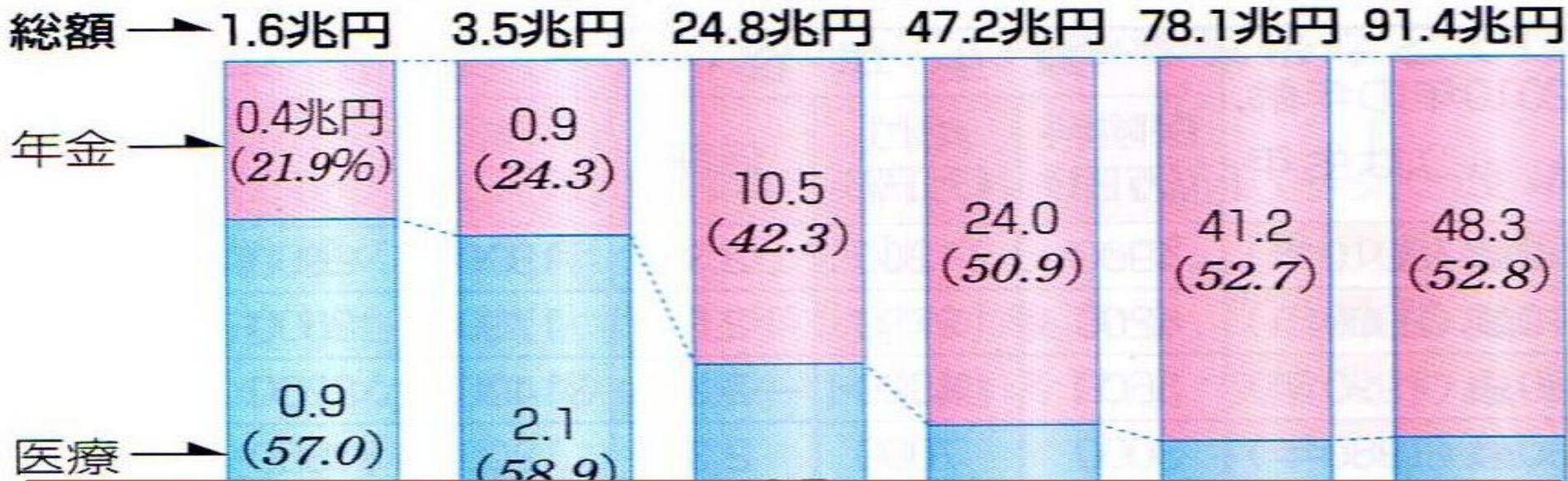
3時間にわたって、社会保障制度の学習を進めてきました。みなさん、これから社会に出ていく前に、社会保障に対する理解は深まりましたか？

今日の後半では社会保障制度の未来に関する「真実」を見てきましたが、もちろん、だからといって社会保障制度の未来は安心！と自信を持って言い切れるものではありません。

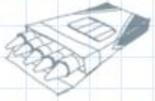




2 社会保障給付費の推移



日本の社会保障関係の費用は年々増え続ける一方で、租税や保険料で不足する分を国債 (= 国の借金) で賄っており、その額は1000兆円を超えています。



高齢化が進むことによる社会保障関係費の増加は、日本の未来にとって大きな課題です。もちろん、これから社会に出ていくみなさんにも関わる重要な課題です。

日本には、どのような社会保障制度の在り方が良いのか、そのためには今後何が必要なのか、これからを生きる私たちの課題として、考えていくようにしましょう。

